

第2期基本計画の意見を募集

市では、総合計画「NARITAみらいプラン」の第2期基本計画の策定を進めています。市民の皆さんの意見を生かした計画とするため、パブリックコメントを実施して素案に対する意見を募集します。

総合計画とは

まちづくりを進めていく上での指針となる中長期的な計画で、市のあらゆる計画の最上位に位置付けられます。

現在、市では総合計画「NARITAみらいプラン」に掲げている「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりた」という将来都市像を目指し「若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり」「医療・福祉の充実したまちづくり」「空港と共に発展するまちづくり」という3つの基本姿勢を掲げ、未来を見据えたまちづくりを推進しています。

プランの構造と計画期間

NARITAみらいプランは、

平成28年度～令和9年度までの12年間を計画期間としています。社会情勢の変化などに対応できるように、3期の基本計画に分割して4年ごとに見直しを行います(図1)。

今年度は第1期基本計画がスタートしてから4年目となるため来年度以降の第2期基本計画の策定を進めています。

計画策定過程での市民参画

総合計画は行政だけでなく、地域全体の進路を指し示す羅針盤となります。

そこで、計画の策定にあたっては、市民の皆さんの声を反映するため、積極的な市民参画を図りました。

市民意識調査

無作為に抽出された15歳以上の市民5,000人に対して、市の施策に対する現状の満足度や、今後力を入れていくべきと考える施策などについてアンケート調査を行いました。

市民ワークショップ

今後の成田のまちづくりについての皆さんの思いやアイデアを共有するため、市民ワークショップ「なりた☆未来予想図」を5月12日に開催しました。

当日は、16歳以上の市民48人が集まり、活発な話し合いが行われました(7ページ)。

また、国際医療福祉大学や生涯大学院の学生を対象にワークショップを開催し、これからの成田についてさまざまな意見を伺いました。

上空から見た京成公津の駅周辺

パブリックコメントを 実施します

市では、調査やワークショップなどの取り組みを通じて寄せられた意見を参考に、計画の素案をまとめました。

より多くの皆さんの意見を反映させるため、次の通り素案を公表し、意見を募集します。

閲覧場所 企画政策課市役所3階
行政資料室(市役所1階)、下総・大栄支所、各公民館、市立図書館、保健福祉館、もりんぴあこづつ、三里塚コミュニティセンター、赤坂ふれあいセンター、市ホームページ(<https://www.city.narita.chiba.jp/shisei/page000100.html>)

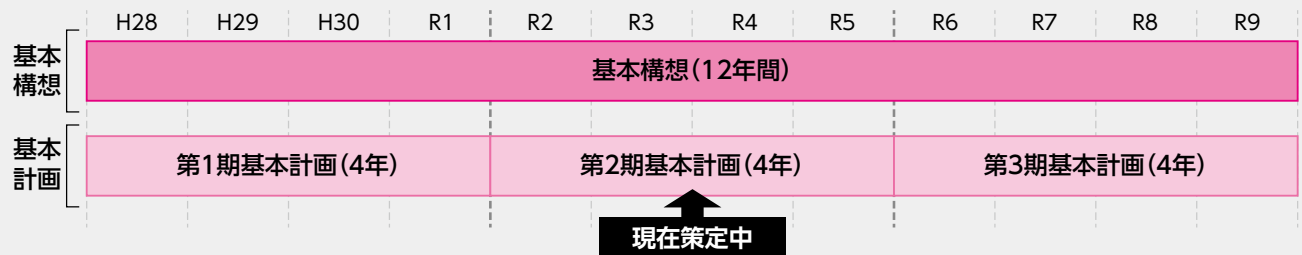
閲覧・意見の提出期限 10月30日(水)(当日消印有効)

意見の提出方法 直接・郵送・FAX・Eメールのいずれかで住所・氏名・電話番号・意見を企画政策課 〒286-8655 花崎町760 FAX 24-1006 Eメール kikaku@city.narita.chiba.jp

結果の公表 市の考えと併せて市ホームページなどで掲載

※くわしくは回線(☎20-1500)へ。

図1 NARITAみらいプランの構造と計画期間



基本構想(12年間)

市の将来都市像やまちづくりの基本指針を示したものです。12年間で実現を目指す「将来都市像」や、その基本的な考え方である「まちづくりの基本姿勢」などで構成しています。

基本計画(4年ごとに第1期・第2期・第3期として策定)

基本構想に掲げる将来都市像を達成するため、施策ごとに「目指す姿」や計画期間である「4年間の取り組み方針」、到達すべき目標としての「まちづくり指標」、課題解決に向けた取り組み方針としての「施策の方向」などを示したものです。

なりた☆未来予想図で出された意見

「NARITAみらいプラン」の施策体系に基づき、6つの分野別のグループに分かれて話し合いを行いました。参加者から出された主な意見は次の通りです。

住環境

- 道路を整備するなど、インフラ整備を行う。ICTを活用した防災情報などの周知に努める
- 全ての市民が同じ水準で生活できるようなサービスを受けられるまちづくり

保健・医療・福祉

- 子どもから高齢者まで、包括的に支援できる場所を各地域につくる
- 交通手段を整備して、高齢者などが外出する機会をつくる
- 施設の整備だけでなく、ソフト面での子育て支援策の充実

教育・文化

- 学校運営の効率化を図り、子どもに向けられる目を増やす
- 施設や各種イベントを見直し、新たな文化を生み出せるイベントを提案する
- 成田で暮らす外国人の日本語サポートの強化

空港・都市基盤

- 空港利用客が夜も楽しめる表参道づくり
- 空港通りのにぎわいの創出。市場の活用。航空ネットワークを活用したまちづくり
- 大学病院を活用した魅力あるまちづくり

産業振興

- 豊かな観光資源を生かした観光振興やロケ誘致。観光キャラクター「うなりくん」を活用した観光情報の発信
- 農業経営を支援するための補助制度の充実。新市場の機能を生かした農産物のブランド化
- 有名な観光地を主軸としながら、新たな魅力に目を向けてもらえるようなツアーなどの企画支援



積極的な話し合いが行われる